

今秋 消費者向け3イベントに出展 ～ 来場者アンケートを実施  
**■衣類購入基準 ▶▶ 9割が「家庭で洗濯できること」**  
**■子ども用高視認性安全ベスト ▶▶ 黄色に人気集まる**

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター(本部:東京都台東区蔵前、理事長:駒田展大)は、今秋開催された3つの消費者向けのイベントに参加しました。

ニッセンケンブースの出展テーマは「安心・安全・信頼のための衣類選び」。衣類等繊維製品の品質管理のプロが集う財団として、消費者のみなさんがより安心して衣生活を楽しめるよう、積極的に情報発信をおこないました。

当日、ご来場をいただきました皆様に心より御礼を申し上げます。



くらしフェスタ東京

10/25(金)・26(土) 新宿西口ひろば



みんなのアレルギー&防災 EXPO

10/29(火)・30(水) 新宿・京王プラザホテル

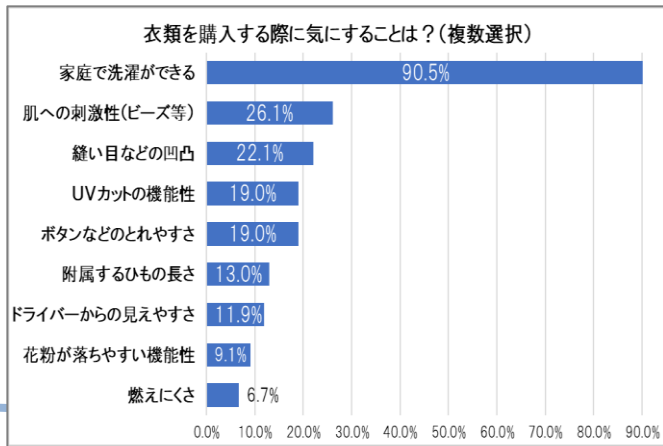


大阪府消費者フェア

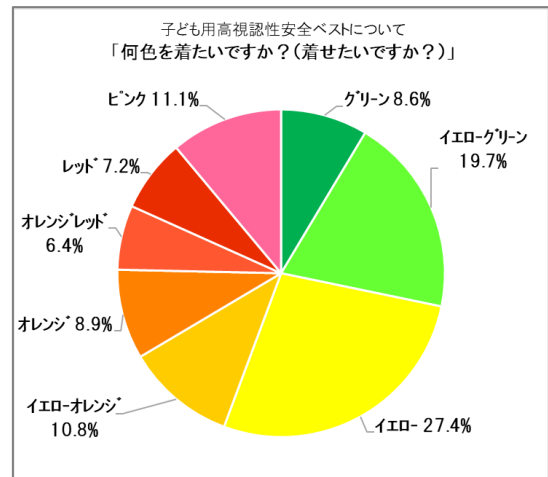
11/2(土) 大阪府咲洲庁舎

ブースではパンフレット「子ども服の安全 10 箇条」を配布するとともに、エコテックス®認証を取得した製品や子ども用高視認性安全ベストを展示しました。来場者からは「洋服の安全性について、あまり意識したことが無かった」「ファッション業界からもっと情報発信してほしい」などの声が聞かれています。

各会場で、来場者向けのアンケートを行いましたので、抜粋してその結果をお知らせします。



3会場合計の回答者数は 253 人。衣類の安全性に関する質問。当てはまるものを全て挙げてもらった。「家庭で洗濯ができる」は、ホルムアルデヒドの影響を軽減するため、という主旨の選択肢であったが、回答者の反応は、主に「クリーニング代の節約のため」ということだった。ひよんなことからそちらの実態も知ることができた。なお、ホルムアルデヒドについては併せて説明した。肌への刺激性や凸凹など、着心地に関することへの関心も高いことが分かった。



3会場合計の回答者数は 361 人。子ども用高視認性安全ベストを8色展示し、子どもには「どの色が着たいか?」、また大人には「どの色を子どもに着せたいか?」と質問。性別を問わず、黄色が人気だった。また、「赤系は女の子向け、緑系は男の子向け」という旧来の価値観に収まらないのが今どきの子どもなのか…。女の子から「緑がかわいい」、男の子から「ピンクがかっこいいから今着てみたい」、そのような、えっ?と思うような答えが多く聞かれた。ジェンダーレスを身近に感じた。

